

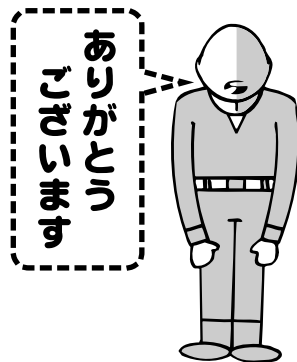
電子音聴器

FSB-7D
サウンドバー



取扱説明書

ごあいさつ



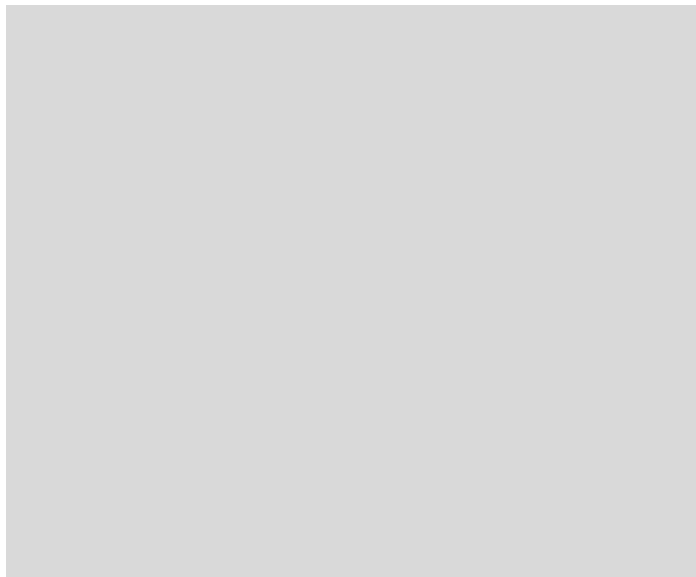
このたびは電子音聴器「FSB-7D」サウンドバーをお買い上げ頂きまして誠にありがとうございました。

本書は、FSB-7Dの取扱いについて記載した説明書です。
本書には、測定原理，使用方法とその他について、記載されておりますので本器をご使用前には、必ず取扱説明書をお読みになり、取扱内容を正しくご理解の上、本器をご使用下さい。

尚、取扱説明書を紛失した場合には、弊社までご相談下さい。

用 途

本器は微弱な振動音を鋭敏にキャッチし増幅して、耳で音色、目で数値を確認して音の大きさを比較する事により、漏水の調査・発見からノイズ異常音などの確認・保守点検等に使用します。



安全にご使用頂くために

注意 本器を配管の漏洩音や機器の異常音の検知以外に使用しないで下さい。



注意 本器を使用する場合は周囲の交通状況等に注意して下さい。



注意 本器は防水機能ではありません。故障の原因となりますので雨天での使用は避けて下さい。



注意 本器は耐衝撃構造ではありません。故障の原因となりますので強い衝撃を与えないで下さい。



注意 本器には土中に差し込むための鋭利な棒がついています。先端が人に当たりますと思わぬ怪我をする場合があります。
移動中持ち運びの際には、落下によりお客様が怪我をしない様、またご使用されるお客様以外の人に当たらぬ様、十分ご注意下さい。

保証期間

「保証書」はお買い上げ日より1年間です。

保証期間内に機器の機能上に不具合を生じた場合は無償にて修理させていただきます。

保証期間外、或いはお客様の原因により破損故障した場合は有償にて修理させていただきます。その他不具合がありましたら、弊社営業所にご連絡下さい。

「保証書」は製造上の欠陥による故障の場合無償修理させていただきますので紛失しないよう大切に保存して下さい。ただし、次のような場合には保証期間でも有料修理となります。

1. お取り扱いの不注意及び誤ったご使用による故障
2. 不当な修理や改造をされた場合
3. 落下などによる故障及び損傷
4. 天災地変による故障及び損傷
5. 保証書のご提示がない場合

保証書	
このたびは当社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。	
型 名	FSB-7D
品 名	電子音聴器
製 番	
ご購入	年 月 日 保証期間1ケ年
ご芳名	
ご住所	〒 ()
株式会社 フジテコム株式会社 本社 東京都千代田区神田和泉町1-3-1 ☎(03)3862-3196 製品管理課 埼玉県新屋市野火止8-6-16 ☎(048)479-0581	

保証書は本取扱説明書の最終に添付してあります。

目 次

お使いになる前に	6
機器の構成	7
各部の名称	8
使用方法	9
1. 機器の準備	
2. 電池容量の確認	10
3. 通常的使用方法	11
4. レベル操作	13
5. レベルスイッチと音量調節ツマミの関係	14
6. ピークホールドの使い方	15
スイッチ操作の諸注意	16
仕様	17
保管方法	18
フジ全国サービスネットワーク	19
保証書	

お使いになるまえに

本器を正しく使って頂く為に使用する前には必ず点検して下さい。

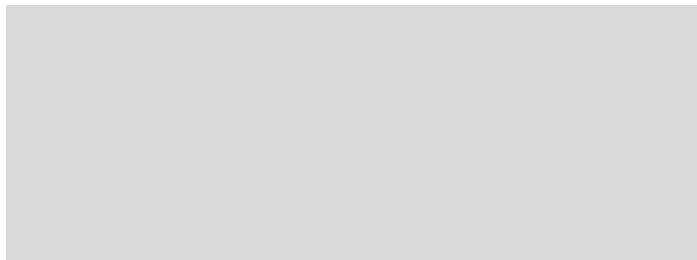
注意

この点検は簡易点検です。お客様が本器を安全に使って頂くため、定期的に（年に1度は）弊社メンテナンス部門にて機能全体の点検をして下さい。

点検は

1. 構成品の有無のチェック
2. 本体の電池チェック
3. 本体の動作点検

の3項目となります。



機器の構成

本器は下記の7点から構成されています。ご購入後、構成品をご確認下さい。万一、不都合がございましたら、お買い求め頂いた支店・営業所へご連絡下さい。

1. 本体 1台
2. 感振棒 1本



3. 接続延長用感振棒 2本



4. ヘッドホン 1個



5. 電池006P 1個



6. 取扱説明書 1冊



7. 収納ケース 1個



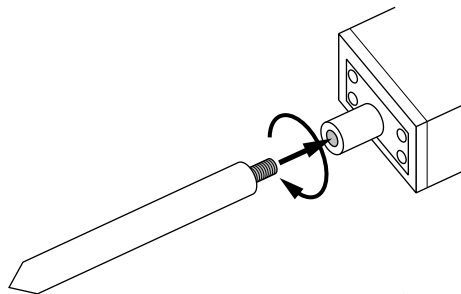
各部の名称



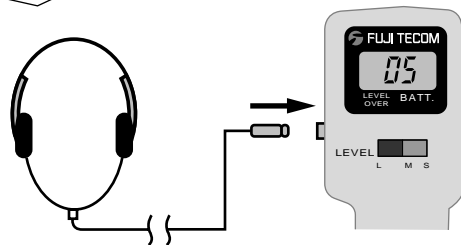
使用方法

1. 機器の準備

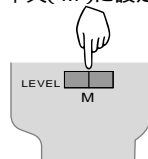
(1) 感振棒を本体に接続します。



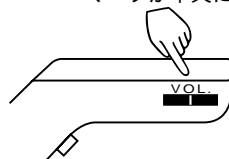
(2) ヘッドホンプラグを本体のジャックに差し込みます。



中央 (M) に設定



マークが中央に



(3) レベルスイッチを中央に (M) に設定し、ボリュームツマミはマークが中央になるように設定します。

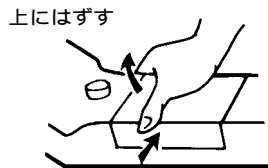
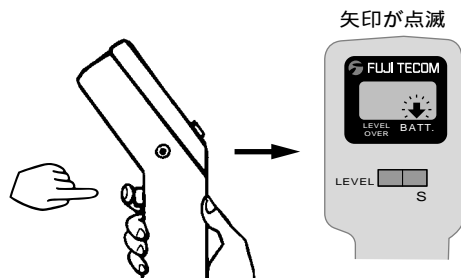
使用方法

2. 電池容量の確認

電源スイッチを押しますと、液晶表示部右下に矢印が点滅し、すぐ消えます。

* 容量が不足したときは、この矢印が点滅し続けますのでその場合は電池を取替えて下さい。

交換電池は006P×1個と交換して下さい。



電池の交換

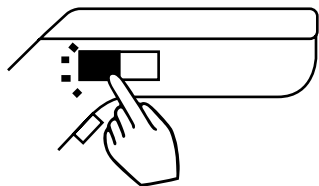
電源スイッチを押したとき、液晶に数値が表示されない場合は、電池容量が完全に消耗したか、本体が故障した可能性があります。その場合は、電池を交換した後チェックして下さい。

* 長時間使用しないときは、電池を取り外しておいて下さい。

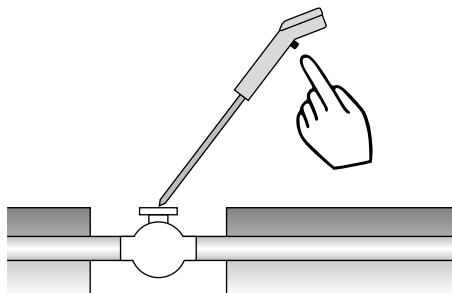
使用方法

3. 通常の使用方法

(1) モードスイッチを (MOMENT) の位置にします。



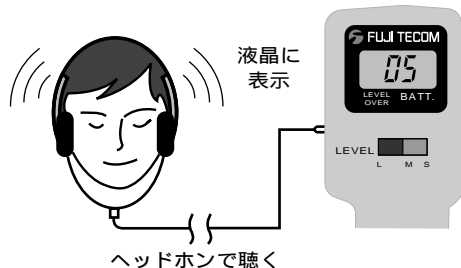
(2) 感振棒を音源部に押しあて、電源スイッチを押します。



注意

機械の異常音を点検するときは、機械の動作部（回転部・稼動部）には絶対に感振棒を当てないで下さい。回転に巻き込まれ本器を破損するばかりか、回転により怪我をする事が予想されます。

使用方法

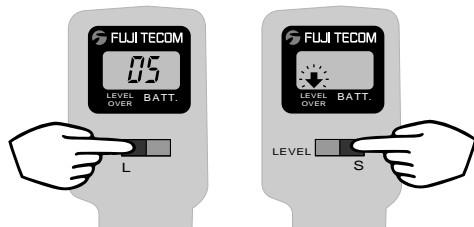


(3) 振動の大きさがLCDに表示され、振動音をヘッドホンで聴く事ができます。

* 電源スイッチを離すと電源が切れます。

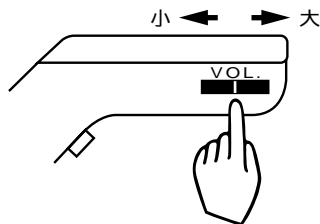
注意

本器は舗装上では自立できません。歩行者、自転車、車両等の邪魔にならない場所で水気のない場所に寝かせておく等して下さい。



* レベルオーバーの矢印が点滅した場合は、レベルスイッチを右側(S)に、押して下さい。

液晶表示が1桁の場合は(L)に押して下さい。



* 音量が大きい場合は、音量調節ツマミを手前に(時計回り)に回して下さい。小さい場合は、反対(反時計回り)に回して下さい。

使用方法

4. レベル操作

レベルスイッチは3段切替で、入力レベルを設定増幅度だけ増幅し、出力表示します。

M. 表示はスイッチ“L”の時の $\frac{1}{10}$ になります。

S. 表示はスイッチ“L”の時の $\frac{1}{100}$ になります。

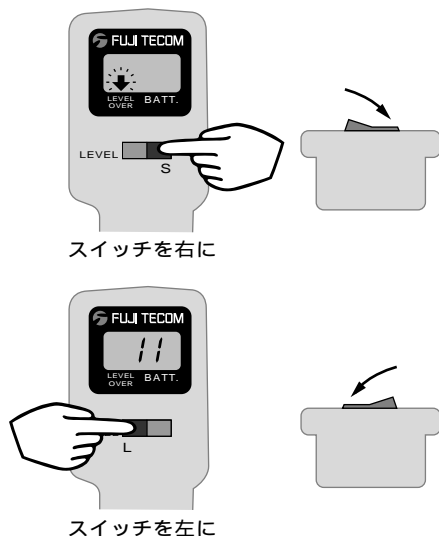
液晶表示は出力レベルを00～99の数値で表示します。

99を越えると、液晶表示左下に矢印が点滅し出力オーバーを知らせてくれます。

その場合はスイッチを右（L MあるいはM S）に押しアンプの増幅度を下げます。

* 点滅状態での数値表示は実測レベル値ではありません。

表示値が1桁の数値の場合は、スイッチを（S MあるいはM L）にアンプの増幅度を上げます。



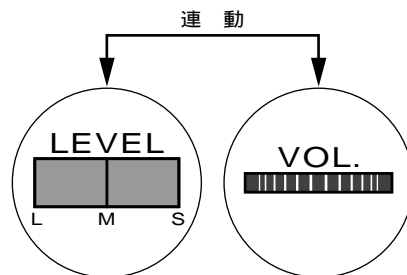
使用方法

例えば“M”モードで表示値が44の場合

スイッチ“S”では表示値が04となります。

スイッチ“L”ではレベルオーバーのため矢印点滅が表示されます。
従って、レベルスイッチの位置はMが適切な使用モードとなります。

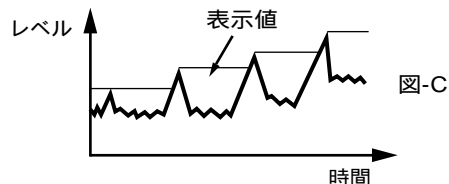
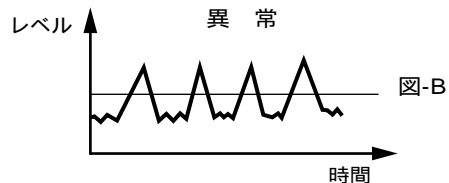
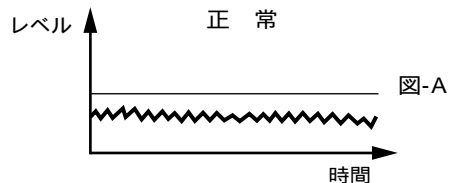
* 液晶表示には上記のような数値で表示しますが、入力レベルは基本的には変わっていません。



5. レベルスイッチと音量調節ツマミの関係

音量ツマミを回しても液晶の表示値が変化しないようにボリュームは表示回路とは別になっています。

しかし、液晶表示値と音量とが一定の関係となるようにレベルスイッチと連動しています。



6. ピークホールドの使い方

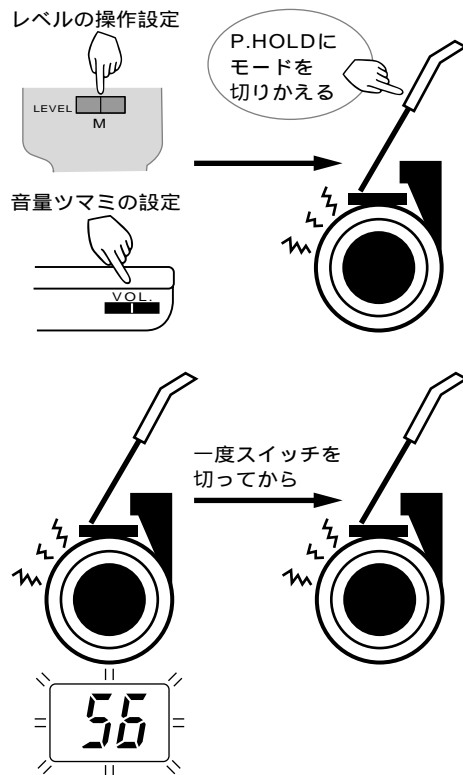
例えば、モーターを使用している機器などの検査可否（モーターの回転音など）の判定に使用する場合、正常な回転をしている場合は右図-Aのようにしてレベル値は安定した数値を表示します。（MOMENTモード）

しかし異常がある場合は、そのレベル数値はムラが生じ、右図-Bのようにピーク値が不安定な表示となります。（MOMENTモード）

このような場合、モードがMOMENTにはいつている時のピーク値は瞬時に変化するため、音のレベルは読み取りにくいのですが、モードをP.HOLDにしますと液晶表示値に異常がある場合、見落とす事はありません。（右図-C）

例えば、正常値の許容範囲が設定できる場合にピークホールドのモードに設定することにより、その許容範囲を越えた場合にモーター音などの異常か正常かの可否の選定に利用します。

スイッチ操作の諸注意



ピークボールドはモードスイッチをP.HOLDに設定後の最大入力レベルを表示します。

1. P.HOLDにモードを設定する前に各スイッチの操作をしますと、その操作音そのまま入力表示されてしまいますので、レベルスイッチ、音量ツマミの設定を行なった後にP.HOLDにモードを切替えてから使用して下さい。

2. P.HOLDを一度使用した後、スイッチを切らずに、続けて操作しますと、前のP.HOLD値が残ったまま表示されますのでご注意ください。

仕 様

本体（アンプ）

ピックアップ	NPC圧電素子
増 幅 度	69dB
周 波 数 帯 域	190Hz～2200Hz/－3dB
帯域外減衰度	－18dB/oct
最低動作電圧	6.0V
電池警告表示	6.5V以下
ピーク値ホールド	10秒以上
消 費 電 流	7mA（無信号時）
電 池 寿 命	25時間以上
電 池	S－006P（9V）1個
寸 法（本体）	55×37×182mm
重 量	280 g（感振棒を含まず）

感振棒

寸 法	320mm
重 量	190g

延長用感振棒

寸 法	315mm（延長用）
重 量	190g

総重量（ケースを含む） 1.8kg

保管方法

使用後の手入れ

当器を使用した後はゴミ・汚れ等をよく拭き取り、清掃してから収納ケースに戻して下さい。

長期間使用しない場合

1. 取扱い説明書を含めた構成品が揃っていることを確認して下さい。

取扱説明書は次回に本器を使用するときに必要です。

2. 乾電池は外して下さい。

長時間取り付けたままにしておきますと液漏れして機器を破損する場合があります。

3. 水気のある場所には保管しないで下さい。

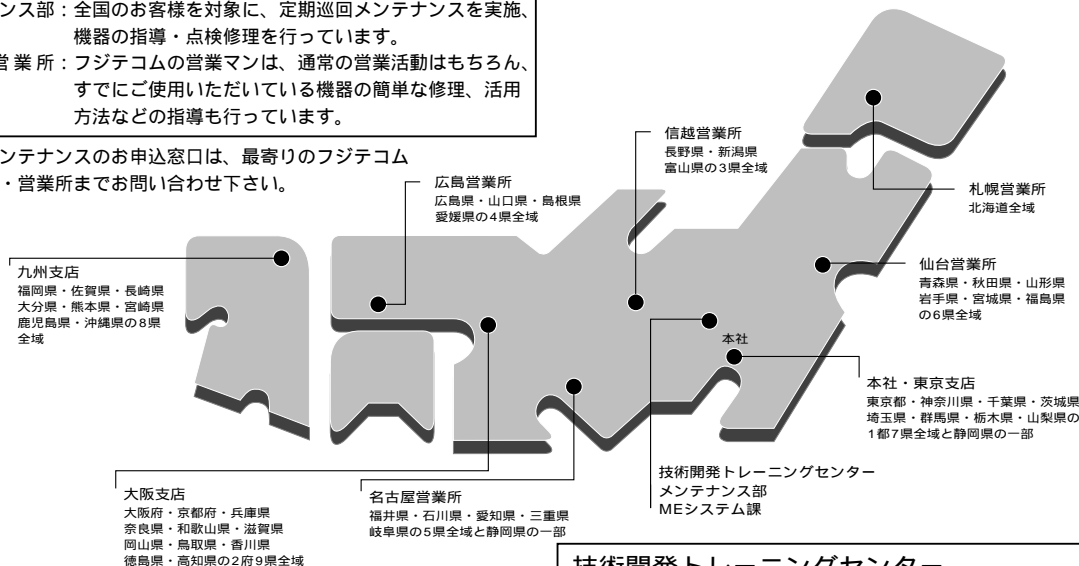
フジ全国サービスネットワーク

アフターサービス

メンテナンス部：全国のお客様を対象に、定期巡回メンテナンスを実施、機器の指導・点検修理を行っています。

支店・営業所：フジテコムの営業マンは、通常の営業活動はもちろん、すでにご使用いただいている機器の簡単な修理、活用方法などの指導も行っています。

巡回メンテナンスのお申込窓口は、最寄りのフジテコム
各支店・営業所までお問い合わせ下さい。



技術開発トレーニングセンター

弊社では機器を効率よく安全にご使用頂くため全国のお客様を対象に
技術開発トレーニングセンター内のテストコースにて機器の取扱いの
ご指導をさせて頂いております。お気軽にご利用下さい。

トレーニングセンターのお申込窓口は、最寄りのフジテコム各支店・
営業所までお問い合わせ下さい。

ISO 9001 認証取得

管路システムのサポートメーカー



フジテコム株式会社

ホームページ: <http://www.fujitecom.co.jp/>

本社 / 〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町1-3-1(三恵ビル)
☎(03)3862-3196 FAX(03)3866-1979

東京支店 / 〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町1-3-1(三恵ビル)
☎(03)3865-2960 FAX(03)3865-2964

大阪支店 / 〒530-0047 大阪市北区西天満3-13-18(島根ビル)
☎(06)6362-6755 FAX(06)6362-6759

九州営業所 / 〒812-0007 福岡市博多区東比恵3-4-2(ZS福岡ビル)
☎(092)474-3225 FAX(092)474-3894

仙台営業所 / 〒980-0014 仙台市青葉区本町1-12-12(山万ビル)
☎(022)222-2011 FAX(022)261-2497

名古屋営業所 / 〒461-0004 名古屋市東区葵3-23-7(千種ファーストビルN)
☎(052)933-4891 FAX(052)933-4894

札幌営業所 / 〒003-0029 札幌市白石区平和通10丁目北7-37
☎(011)864-9511 FAX(011)864-9507

広島営業所 / 〒732-0052 広島市東区光町2-12-10(日宝光町ビル)
☎(082)261-0939 FAX(082)261-0948

信越営業所 / 〒380-0805 長野市柳町2056(柳町ビル)
☎(026)232-3521 FAX(026)232-2197

MEシステム課 / 〒352-0011 埼玉県新座市野火止8-6-16
☎(048)482-8777 FAX(048)489-3456

技術開発・トレーニングセンター / 〒352-0011 埼玉県新座市野火止8-6-16
☎(048)479-0581 FAX(048)479-0584

テレホン技術サービス ☎(048)479-0583

保 証 書

このたびは当社製品をお買上げいただき誠にありがとうございます。

型 名 FSB-7D
品 名 電子音聴器
製 番 _____

ご購入	年 月 日 保証期間1ヶ年
ご芳名	
ご住所	〒 ()

音源システムのサポートメーカー
フジテコム株式会社

本 社 東京都千代田区神田和泉町1-3-1 ☎(03)3862-3196
製品管理課 埼玉県新座市野火止8-6-16 ☎(048)479-0581

本書は製造上の欠陥による故障の場合、無償修理させていただきますので紛失しないよう大切に保存して下さい。
ただし、次のような場合には保証期間中でも有料修理となります。

1. お取り扱いの不注意および誤ったご使用による故障
2. 不当な修理や改造をされた場合
3. 落下などによる故障および損傷
4. 天災地変による故障および損傷
5. 本書のご提示がない場合
6. 消耗部品を取替える場合